

文化芸術交流事業に必要な経費

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 中学高校教員交流（招へい）
- (2) 中学高校教員交流（派遣）
- (3) 開高健記念アジア作家招へい
- (4) 文化交流企画運営補助（JFボランティア）

2. 催し等事業費

- (1) 市民青少年交流（主催/派遣）
- (2) 市民青少年交流（主催/招へい）
- (3) 市民青少年交流（助成）
- (4) 異文化理解ワークショップ

市民青少年交流事業費

人物交流事業費 (1) 中学高校教員交流 (招へい)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで招へいし、研修、視察の機会を提供する。

合計額 122,605,621 円

| | 事業名 | 国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------------|---|--|-----------------------|--|
| 1 | 中高教員グループ (第1) | モンゴル 東ティモール ブルネイ マレーシア ミャンマー ラオス バングラデシュ ベルギー ポルトガル ルクセンブルク ポーランド ボスニア・ヘルツェゴビナ マケドニア ルーマニア サウジアラビア シリア パレスチナ ヨルダン レバノン ナイジェリア マダガスカル マラウイ 南アフリカ モザンビーク | 3 3 3 5 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 2 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 | 07.06.21～ 07.07.04 | 各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供（訪問自治体：新潟県、福島県、奈良県） |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|------------------|--|---|-----------------------|--|
| 2 | 中高教員グループ（第2） | タイ フィリピン インド ブータン オーストラリア パラオ フィジー ミクロネシア パナマ ホンジュラス メキシコ ブラジル ベネズエラ ペルー ボリビア イタリア 英国 ドイツ フィンランド フランス エストニア ハンガリー ラトビア リトアニア ロシア セネガル | 3 3 5 3 5 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 5 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 | 07.12.06～ 07.12.19 | 各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供（訪問自治体：東京都、京都市、愛媛県） |
| 3 | 中高教員グループ（インドネシア） | インドネシア | 15 | 07.07.05～ 07.07.18 | インドネシアにおける青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、わが国の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供。訪問先は大阪市 |
| 4 | 中高教員グループ（韓国） | 韓国 | 25 | 07.10.03～ 07.10.16 | 韓国における日本理解及び日韓文化交流を促進することを目的として、韓国の教員等を招へいし日本の文化と社会に関する理解を深める機会を提供（訪問自治体：大阪市） |

市民青少年交流事業費

人物交流事業費 (2) 中学高校教員交流 (派遣)

諸外国の中学・高校レベルでの日本理解を促進するため、中学・高校の社会科教員または中等レベルの教育行政に携わる者をグループで派遣する。

合計額 754,999 円

| | 事業名 | 国 | 参加人数 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------------|----|------|-----------------------|---|
| 1 | 韓日教育者交流 事前研修 | 韓国 | 25 | 07.10.23～ 07.10.24 | 韓国国際交流財団との相互交流プログラムの一環として、日本の中学・高校の社会科教員の韓国研修の渡航前オリエンテーションを実施 |

人物交流事業費 (3) 開高健記念アジア作家招へい

日本では紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民へ紹介するとともに、文学関係者間の交流を促進するため、アジアから作家を招へいし、日本各地で講演会等を実施する。

合計額 4,503,849 円

| | 事業名 | 関連人物姓名 | 在住国 | 都市 | 場所名 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|--------|-----|-------------------------|---|-----------------------|--|
| 1 | 第17回開高健記念アジア作家招聘事業 | 李鋭 | 中国 | 東京 仙台市 大阪市 函館市 | 国際交流基金 仙台文学館 大阪国際交流センター 函館市中央図書館 | 07.11.02～ 07.11.15 | 平成元年に逝去した作家・開高健氏の遺族から寄せられた寄附をもとに、平成2年から実施しているアジア作家の講演会シリーズを引き続き実施する。アジアから作家・文学関係者1名を約2週間日本に招へいし、講演会を実施するとともに、日本の文学関係者との意見交換・対話の場を設けることにより、日本で紹介されることの少ないアジアの文学を一般市民に紹介し、日本とアジアの文学関係者同士の交流を促進することを目的とする。19年度は、19年が「日中文化・スポーツ交流年」であることにも鑑み、中国のノーベル文学賞候補作家である李鋭（リ・ルエイ）氏を招へいし、大阪（大阪国際交流センター）、仙台（仙台市市民文化事業団）、函館（北海道国際交流センター）、東京（基金）にて講演会を実施 |

市民青少年交流事業費

人物交流事業費 (4)文化交流企画運営補助 (JFボランティア)

日本との文化交流活動を主たる業務としている海外の非営利団体へ市民ボランティアを派遣し、企画運営補助業務を行なう。

合計額 14,105,121 円

| | 氏名 | 国 | 受入機関 | 期間 | 事業内容 |
|---|-------|-------|--------------------------------------|-----------------------|---|
| 1 | 尾上 智子 | フィリピン | フィリピン日系人互助財団附属研修センター 財団法人北ルソン比日基金 | 07.04.05～ 08.02.29 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 2 | 塩沢 祥子 | エジプト | エジプト日本語振興会 | 06.11.10～ 07.11.09 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 3 | 河嶋 佳子 | ドイツ | ベルリン日独センター | 06.09.01～ 07.08.31 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 4 | 岩下 貴卓 | インド | インド文部省留学生協会 (MOSAI) | 07.09.27～ 08.09.26 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 5 | 榮谷 泰子 | ドイツ | ベルリン日独センター | 07.09.01～ 08.08.31 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 6 | 中井 仙丈 | タイ | チェンマイ大学・日本センター | 07.10.01～ 08.12.31 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |
| 7 | 慶野 温子 | 英国 | 大和日英基金 (英国) | 08.01.02～ 08.12.28 | より広い地域・幅広い層の市民青少年を担い手とする、地域や事業分類に限定されない多様な交流活動を活性化するため、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣。 |

催し等事業費 (1)市民青少年交流 (主催/派遣)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本から派遣し、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。
合計額 4,123,601 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|---|--|----|-----------------------|--|
| 1 | 韓国青少年問題関係者グループ(派遣) | 磯田 浩司 工藤 啓 山本 正登 山本 繁 山本 和香子 塚本 竜也 | グッド！代表 特定非営利活動法人「育て上げ」ネット理事長 K2インターナショナルオーストラリア統括責任者 NPOコトバノアトリエ代表理事 たちかわサポートステーションセンター長 特定非営利活動法人NICE(日本国際ワークキャンプセンター)事務局長 | 韓国 | 08.03.03～ 08.03.08 | 日韓両国が共有する社会的課題を中心としたNPO/市民団体間の交流強化を目指し、若者の就労支援NPO団体の実務者をグループで韓国へ派遣し、韓国の同分野の市民団体関係者との意見交換や現場視察などを行う。市民団体の活動状況、および、市民団体を取り巻く環境等について把握し、両国の市民レベルにおける交流活性化を促進するとともに、事業体験の共有を通じて参加者(団体)間のネットワークを形成・強化する事業 |

市民青少年交流事業費

催し等事業費 (2)市民青少年交流 (主催/招へい)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本に招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会などの機会を提供する。
合計額 7,532,683 円

| | 事業名 | 氏名 | 現職 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|---|--------------------|---|---|------|-----------------------|--|
| 1 | ベトナム文化交流関係者グループ招へい | BUI Hoang Quang LE Long Duc LE Ngoc Ding LE Phuong Thi Hoai NGO Khoi Hoang Van NGUYEN Anh My NGUYEN Huong Thi Thu NGUYEN Yen Thi Thu PHAM Bing Thi PHAN Dung Tien TRAN Hai Van TRAN Nam Thanh TRAN Van Viet | 外務省外交団サービス局 General Director ベトナム教育訓練省 Chief Officer 文化スポーツ観光省 Deputy Director 文化スポーツ観光省 Director ダナン市外務局 Director ハノイ市文化情報局 Officer ベトナム外務省 Officer 教育訓練省・教育カリキュラム戦略研究所 Officer ベトナム財務省 Chief Officer トア・ティエン・フエ省文化情報局 Director 文化スポーツ観光省 Officer ホーチミン市文化情報局 Executive Officer 労働新聞 Journalist | ベトナム | 07.12.04～ 07.12.13 | ベトナム文化交流支援センターの開設記念事業の一環として、日本とベトナム両国の相互理解の促進ならびに、日越交流に関する関係者間のネットワーク形成と新たな日越交流事業の発展に資することを目的として、日越交流に携るベトナム行政機関の実務レベル担当者及び研究者をグループで招へいし、関係諸機関の視察や日本側で同分野に係る専門家等との情報・意見交換の機会を提供する。また、文化交流支援センターを拠点としたベトナムにおける日本語事業の展開に益する人材及び環境を涵養するため、日本語国際センター、関西国際センターを訪問し、研修事業の視察、講師や職員との意見交換を実施 |

市民青少年交流事業費

催し等事業費 (3)市民青少年交流 (助成)

日本と海外の市民レベルにおける相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 91,657,805 円

| 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|--------------------------|-----------------------|----------------|-----------------------|---|
| 1 伝承芸能・沼田祇園囃子による国際交流 | 沼田祇園囃子保存会連合会 | ドイツ | 07.10.13～ 07.10.19 | 重要民俗文化財「沼田祇園囃子」を伝承練磨する保存会の中で、未来を担う子供達を含めて国際姉妹都市、ドイツ・フュッセン市に派遣し、市民にお囃子を披露すると共に、現地の学校で、特別授業を実施し、日本の祭囃子を媒介として日本文化への理解を求めつつ、友好の輪を広めると共に、情操教育と国際感覚の醸成を図る事業 |
| 2 第23回日韓学生フォーラム | 第23回日韓学生フォーラム | 韓国 | 07.08.05～ 07.08.19 | 日本にて、日韓の学生が2週間寝食を共にし、共通の経験を分かち合うと共に、日韓問題に関する各個人のプレゼンテーション、フィールドトリップ、全体討論などのプログラムを実施 |
| 3 日中独トライアングル音楽交流事業 | 特定非営利活動法人 鳴門「第九」を歌う会 | 中国 ドイツ | 08.03.28～ 08.03.31 | 鳴門市、中国・青島市、ドイツ・リューネブルク市の3市トライアングル交流の一環として、平和と友愛のシンボルである『ベートーベン「第九」交響曲演奏会』と音楽をテーマとした交流シンポジウムを開催 |
| 4 タイ・ラオス・日本の中学生の生活文化交流 | 日本国際交流センター | タイ ラオス | 07.07.28～ 07.08.05 | タイ・ラオス・日本の中学生がタイの農村地帯の民家で生活を共にしながら文化、生活、教育についての相互理解を図る。最終日には「3カ国中学生会議」を開催して成果を発表すると共に、将来に向けて連携の道話し合う。帰国後は各学校にて報告会を開催し、多くの子ども達に交流内容を紹介 |
| 5 07平和をつくる子ども交流プロジェクト | 特定非営利活動法人 聖地の子どもを支える会 | イスラエル パレスチナ | 07.07.31～ 07.08.15 | 紛争に苦しむイスラエル・パレスチナの若者と日本の若者が日本（特に原爆被爆地）で、対話と交流をとおして戦争と平和を学び、民族・宗教の違いや敵意を超えて友情を育み、将来手を携えて「平和の働き人」となることを企図した事業を実施 |
| 6 日本・ハンガリー保育実践交流 | 特定非営利活動法人 コダーイ芸術教育研究所 | ハンガリー | 07.10.11～ 07.10.24 | ハンガリーの保育者を招聘し、乳幼児の教育理論及び実践に関してセミナー、ワークショップに参加する日本人保育者と意見交換を実施 |
| 7 絵本振興のための日本・スリランカ文化交流事業 | スリランカの教育を支援する会 | スリランカ | 07.11.01～ 07.11.08 | 会員5名と講師2名が現地パートナーと共に、コロンボで5日間の絵本に関するワークショップを実施。これまでの活動の成果であるスリランカ人作家の作品を、日本とスリランカで出版する意義について講演会を開催する他、ストーリーテリング（おはなし会）を行い、こどもたちと絵本をむすぶ活動を展開 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|------------------------|----------|-----------------------|---|
| 8 | パレスチナ難民との交流による異文化理解 | NPO法人 学習創造フォーラム | エジプト | 07.07.19～ 07.07.30 | 異文化交流学習を実施したパレスチナ難民と日本の教師・子どもがエジプトで開催されるiEARN国際会議&コースサミットに参加してさらに相互理解を深めると共に、世界中から集まった人たちと異文化理解について議論を行う。また、これが今後学校での国際交流学习につながるよう交流学習モデルプランを作成 |
| 9 | (日米交流における)蓮子の会-伝統とくらしの書画展 | 蓮子の会(書道会) | 米国 | 07.05.24～ 07.05.30 | 蓮子の会会員及びその賛同者がニューヨークの日本クラブにおいて書を通して市民文化交流を行う。書道作品の展示とともに、書き方の指導をしたりするデモンストレーションやワークショップなどを実施 |
| 10 | 日伊青年演劇交流:ローマ Kyogen一座・ミラノ喜劇一座 日本ツアーと狂言師との交流 | 日伊青年演劇交流実行委員会 | イタリア | 07.06.10～ 07.07.01 | ローマ大学イタリア人学生による翻案新作狂言の上演と狂言師との共演、意見交換と交流。イタリア人学生を招へいし狂言の稽古を積んだ後、日本各地で公演を行うほか、プロの狂言師との交流を実施 |
| 11 | ホームレス・アート国際フェスティバルへの参加と交流活動 | 特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋 | 英国 | 07.07.25～ 07.07.29 | ロンドン市内で開催されるホームレスをはじめとした社会的少数者による国際芸術祭に参加し、アートをきっかけに地元はもとより世界中から集まる団体や当事者と対話を図る。交流を通じ、草の根で活動する市民団体同士の世界的ネットワークを築き、社会問題を解決する手法を共有 |
| 12 | 初等教育教諭へのパネルシアター研修 | パネルシアター研究会 TEP | インド | 07.08.23～ 07.08.31 | インドにて初等教育に従事する先生方や関係者を対象にパネルシアターの技術の研修を行い、これを教育の現場で活かしてもらい、幼児・児童の情操教育に役立ててもらおう事業 |
| 13 | 第4回日韓アジア教育国際会議 | NPO法人日韓・アジア教育文化センター | 韓国 中国 | 07.08.05～ 07.08.07 | アジアにおける教育・文化について、日本語・日本文化を糸口に、日本・韓国・中国・台湾地域の教員・学生が交流。モノリンガル・バイリンガルとアイデンティティ「言葉・人が生きること」を主題に、日韓中の若者と教員が香港に会し、公開の会議を実施 |
| 14 | 街角コンサート in 全州&ソウル | マイスター ブラス カルテット | 韓国 | 07.05.23～ 07.05.30 | 日本の金管四重奏「マイスターブラスカルテット」がソウル市及び全州市(その周辺都市も含む)で、広場や公園、観光地等、野外を中心に「街角コンサート」を実施。学校訪問や韓国人演奏者との共演や、演奏後には市民との交流も実施 |
| 15 | 第9回・第10回 日韓高校生交流キャンプ | 社団法人 日韓経済協会 | 韓国 | 07.08.05～ 08.02.14 | 1回のキャンプで日韓両国の高校生各40名計80名を集め、合宿形態で日韓混成チームを作り、日韓文化に関わるビジネス企画を立てて発表。この共同作業を通じて日韓の若者による密度の濃い交流を促進 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|--------------------------------|-------|-----------------------|--|
| 16 | 写真の町・日中写真文化交流事業 | 東川町国際文化交流協会 (HIACC) | 中国 | 07.05.23～ 07.12.31 | 22年にわたり国内唯一の「写真の町」として写真文化を核として国際的な交流を進めてきた申請機関が、日中文化・スポーツ交流年にあたり、中国大連との合同撮影会・交流セミナー・写真展の開催を通じ、国際交流、相互理解と交流を深める事業 |
| 17 | インドネシアに届け！空飛ぶ車いす | 大森学園高校「空飛ぶ車いす」ボランティア部 | スリランカ | 07.04.01～ 08.03.31 | これまでに日本の高校生がインドネシアに贈った274台の車いすにも故障、パンクが発生。車いす寄贈の継続とともに、現地修理を可能にするためタイヤ、部品などを送り、日本から技術者を派遣し修理工場の立ち上げを準備 |
| 18 | 日韓ユースボランティアキャンプ | 財団法人福岡YWCA | 韓国 | 07.08.05～ 07.08.11 | 韓国・晋州市の中高生と、福岡近隣の中高生が、福岡の福祉施設でボランティア活動を行い、共に学び活動することを通して、相互理解を促進 |
| 19 | 日タイ修好120周年記念プログラム 佐賀県とタイの子ども達 | 財団法人佐賀県国際交流協会 | タイ | 07.11.26～ 07.12.04 | 佐賀県内の民間国際交流団体が奨学金給付等で支援しているタイの青少年等を佐賀県に招へいし、セミナーの開催を通じて県民に広くタイとの国際交流・協力の現状や必要性を伝え、国際交流・協力の担い手の拡充を図る。また、ワークショップを開催してタイとの交流や支援を続けている県民との交流の機会をつくり、相互理解を促進 |
| 20 | 日本タイ聴覚障害者文化交流プロジェクト | 特定非営利活動法人NPOアジアマインド | タイ | 07.04.01～ 08.03.31 | 両国ろう学校生徒、ろう者大学生、手話サークル関係者、ろう者社会人の交換交流。両国参加生徒に対する国際理解、国際交流、ボランティア活動指導と両国ろう者リーダー養成。学校施設、オリンピックセンターを利用し文化交流シンポジウムを開催 |
| 21 | 「韓国の友だち、アンニョンハセヨ！」-小学生ホームステイ交流2007- | 特定非営利活動法人 多言語広場 CELULAS (セルラス) | 韓国 | 07.08.01～ 07.08.07 | 日韓友好の実現のため、小学5・6年生25名と小学校教師3名を公募し、韓国の小学生のいる一般家庭で(先生は先生のお宅で)4泊5日のホームステイと、日韓青少年交流ワークショップを共同開催。また事前、事後活動でも、韓国人留学生や在日韓国家庭との交流を促進 |
| 22 | 日伯ブラジル人交流プロジェクト | NPO法人 ABCジャパン | ブラジル | 07.06.18～ 07.07.24 | 2008年日本人移民100年及び在日ブラジル人20年を機会に、日本での生活体験から見た日本像と日伯の未来についての提言を通じ、ブラジルの日系へ社会と日本のブラジル人コミュニティーの理解を深める。日本とブラジルの未来像を歴史的体験も踏まえ100周年+20年を日本にとってもブラジルにとっても意義あるものにするためのプロジェクト |
| 23 | 2007日米中学生異文化理解交流キャンプ | 浜田国際交流協会 | 米国 | 07.05.01～ 07.12.31 | 日米の中学生が相互に相手国を訪問し、ホームステイをしながら文化・習慣を体験し、異文化理解の必要性と世界平和の将来的模索を討論し広く市民に訴える事業 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-------------------------------------|-------------------------|---------------|-----------------------|---|
| 24 | 美大生による無形文化遺産ワークショップ | 女子美術大学 | 全世界区分困難 | 07.07.02～ 07.07.06 | 日本の美術大学生と外国の美術大学生が無形文化遺産とその保護条約を広報するプロモーション・ビデオ、アニメーション、パンフレット、ポスター等を制作し、若者の国際的ネットワークの構築と事業成果の世界的波及を目指す。国内外の大学生、教員、一般聴衆向けに、講演会、シンポジウム、実演を同時開催 |
| 25 | アートリンク・プロジェクト日米共同フォーラム | 特定非営利活動法人ハート・アート・おokayま | 米国 | 07.04.01～ 07.09.30 | NPOクリエイティブクレイとハート・アート・おokayまのアートリンクの作品、及び障害のある参加者自身やアーティストの相互交流を行い、プロジェクトの実践を通して「創造性と他者との関係性」をキーワードにしたフォーラムを実施 |
| 26 | 病院におけるアトリエ活動-日仏交流2007年 | 無限責任中間法人N&A 'M | フランス | 07.04.01～ 07.06.30 | 国立病院機構徳島病院内にてフランス人アーティストを迎え、アート・ワークショップや患者との共同芸術作品制作、その他展覧会を実施。また、フランスにおいて、日本人アーティストが病院とアトリエで同様の芸術活動を実施 |
| 27 | 世界青少年武徳祭 国際青少年サミット | 大日本武徳会 | 米国 | 07.07.28～ 07.08.05 | 世界各国から青少年が多数集まり、武道を通じて、またサミットでの積極的な対話を通じて異文化理解を促進し、青少年育成を図る事業 |
| 28 | 「センセイ」プロジェクト・日本の教育制度における自然科学およびIT技術 | イタリア文化会館 | イタリア | 07.10.21～ 07.10.28 | イタリアと日本の教師、生徒の交流を通じて、優れた自然科学教育の普及、向上を図る。具体的にはイタリアの教員数名を日本に招へいし、日本の自然科学・IT技術に関する教育制度の現状を視察するとともに、今後の姉妹都市提携合意も目的とする事業 |
| 29 | 日中韓共同映画製作への相互理解促進事業 | NPO法人 横浜アートプロジェクト | 韓国 中国 | 07.04.01～ 08.01.31 | 日中韓三国共同による横浜開港150周年記念映画製作の準備段階として、市場形成や若手の映像制作振興に効果的につながるよう相互理解を促進する為のワークショップ、レクチャー、シンポジウムを開催し、実際のショートフィルム制作、ストーリーミング配信等を実施 |
| 30 | 姉妹都市青少年の課題解決型交流と大会参加 | 特定非営利活動法人 日本未来問題解決プログラム | オーストラリア 米国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 姉妹都市の青少年が課題解決（例：双方都市の地球温暖化比較調査の完遂）に協力しあう交流を行い、世界大会での共同発表後、課題解決型交流の振り返り・シンポジウムを開催。また課題解決の世界大会コンテストに青少年が参加し、スキルと交流経験を積むことで、今後姉妹都市間課題解決交流事業を促進 |
| 31 | 南北 코리아 と日本のともだち展 | 南北 코리아 と日本のともだち展実行委員会 | 韓国 | 07.06.27～ 07.12.31 | 北東アジア地域の平和構築に寄与するため、韓国、北朝鮮、日本（在日コリアン含む）で子どもたちの絵画を募集して一つの会場に展示。また、子どもたちの相互理解を進めるため、未来の平和に向けた交流ワークショップを実施 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------|-----------------------|------------|-----------------------|--|
| 32 | 日韓海峡圏学生サミット2007 | 日韓海峡圏学生サミット実行委員会 | 韓国 | 07.07.01～ 07.10.29 | 日韓両国の若者10名が、玄界灘次世代ネットワークと日韓新時代の未来について議論を交わし、「日韓海峡圏共同体構築」の可能性を模索。併せて、日韓間で懸案となっている歴史認識問題を解決する一つの方策として、日韓両国学生10名が近代資料共有を目指して、韓国群山市においてオーラルヒストリー調査を実施 |
| 33 | 青少年の防災学習国際交流事業 | 防災世界子ども会議プロジェクト実行委員会 | 全世界区分困難 | 07.07.21～ 07.07.26 | 日本の高校生を含む海外の中高生が、エジプトのカイロで開催される第10回アイアンユースサミットで、防災学習の成果を発表し、交流を通して芽生えた絆を大切に国際的な防災教育ネットワークを拡張 |
| 34 | 日中学生会議第26回中国開催 | 日中学生会議 | 中国 | 07.08.16～ 07.08.30 | 日本と中国の学生が知的交流・文化交流を深めることで異文化における理解の構築をめざす事業 |
| 35 | JAPANTRIP 2007 | 日中学生交流団体freebird | 中国 | 07.08.17～ 07.08.29 | 中国の大学生を日本に招き、日中の大学生が2週間の共同生活を通じ相互理解を目指す。日本の代表的な都市である東京と京都にて「文化」をテーマに討論を中心とした交流を実施 |
| 36 | アフリカひろば～わたしが語るリアルアフリカ～ | 特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会 | アフリカ地域区分困難 | 07.04.01～ 08.03.31 | アフリカに興味を感じた人を対象に、より深くアフリカを理解してもらうために、アフリカの様々な実像をバランスよく理解できるような内容の講座を開催。参加者が自発的にアフリカについて学ぶようになり、また、周囲の人にアフリカの実像を自ら伝えていくことを促進 |
| 37 | 国際理解講座「ひろしまアジア塾」開催事業 | 財団法人 ひろしま国際センター | アジア地域区分困難 | 07.05.16～ 08.02.27 | アジア・太平洋地域の政治・経済・文化・歴史等について、大学教官等専門的な講師による定期的な講義・ゼミナールを行う。また、NGO/NPOの実務に触れ、NGO活動を推進するリーダー的人材の育成を図る事業 |
| 38 | 国際ボランティア・カレッジ運営事業 | 特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会 | カンボジア | 07.04.01～ 08.03.31 | 申請機関のこれまでの共働学習経験や国際協力・理解・多文化共生など実践的な専門知識を活かして、グローバル社会で生きることを志す次代を担う若者からシニア世代を対象に、「国際ボランティア・カレッジ」と称する国際NGOならではの新しい学びの場を提供 |
| 39 | 『青少年のための地球市民講座－「多文化共生講座」』 | (財)横浜市国際交流協会 | 全世界区分困難 | 07.07.07～ 07.11.18 | 青少年を対象に市内の小学校や大学、ボランティア団体との連携・協力を得て、世界の150の国と地域の外国籍市民が暮らしている横浜の多文化共生社会の実情を理解し、ボランティア活動を通じて地域社会を体験しながら世界と地域とのつながりを肌で感じ、具体的行動をもって課題解決にむけ活動できる青少年の人材の育成をめざす事業 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|----------------------|----------|-----------------------|--|
| 40 | 日本の将来を考える－在日ベトナム人のこれまでとこれから－ | NGO ベトナム in KOBE | ベトナム | 07.04.01～ 08.03.30 | ベトナムのこと、在日ベトナム人のことをより多くの日本人に知ってもらうため、在日ベトナム人が生活の中で抱える問題について、日本人や日本社会が抱える問題とどのような部分が共通しているか、異なっているか、それはなぜなのかを考える場とする。ベトナム人の視点、ベトナム人の意見を積極的に反映させるセミナー |
| 41 | 北海道・東北・韓国民間団体交流ネットワーク構築事業 | NPO法人ふくかんねっと | 韓国 | 07.04.01～ 08.03.31 | 5月下旬頃、北海道・東北、韓国の民間団体の代表者を招き、福島市においてそれぞれの民間団体が抱える問題についてのパネルディスカッション及び民間交流団体の結成式などを内容としたフォーラムを開催し、韓国と日本との民間交流ネットワークを構築 |
| 42 | アラブ・フェスティバル2008 | アラブ・アジア文化交流協会(アーダード) | 中東地域区分困難 | 08.03.19～ 08.03.23 | アラブメディアにおいて活躍されている代表的な女性と、現代音楽の団体を日本に招き、東京と京都にて学問的なフォーラムを開き、日本側の専門家との交流の機会を設けるとともに、音楽イベントを実施 |
| 43 | フジヤマ太鼓日本研修 | フジヤマ財団 | インドネシア | 07.04.28～ 07.05.13 | インドネシアで日本の太鼓演奏活動を行う団体のメンバーが訪日し、広島太鼓演奏家の演奏を見学するとともに、指導を受け、太鼓の技術や太鼓の専門家としての組織の形成について学ぶ事業 |
| 44 | 日本の在宅サービスの現場訪問 | 韓国在家老人福祉協会 | 韓国 | 07.07.15～ 07.07.19 | コミュニティの活性化に寄与している韓国各地の優秀な社会福祉士で、現場での勤務経歴が5年以上あり、訪日経験のない22名を選抜し、日本の老人福祉の現場を視察する。韓国では2008年7月から老人長期療養保険制度が始まるため、社会福祉士も準備が必要となっているが、既に介護保険制度が実施されている日本の在宅福祉の現場を直接観て、日本の介護の状況について理解を深め、韓国の老人福祉に適用可能な情報や技術を学び、韓国の実情にあわせた在宅サービスの検討・企画を進める事業 |
| 45 | ボイス・オブ・SWCU 訪日事業 | サチャワチャナ・キリスト大学 | インドネシア | 07.07.27～ 07.08.05 | 第23回宝塚国際室内合唱コンクールに参加し、インドネシアの民族音楽を紹介する。また、関西学院大学を訪問し、インドネシアの音楽を紹介するとともに、同大学のグリークラブと共演する。さらに日本文化に触れ、相互理解を深める事業 |
| 46 | 韓日交流と東アジアの共同繁栄のためのシンポジウム | 社団法人釜山韓日文化交流協会 | 韓国 | 07.08.16～ 07.08.25 | 韓国慶尚南道の4大学の学生が山口、広島を訪問し、山口大学等の日本の学生と交流する事業。参加者である学生が主体となり、互いの文化体験や、広島平和資料館等の歴史施設などの訪問、地域の人々との触れ合いや、シンポジウム、討論等の交流事業を通じて、日韓学生の相互理解交流活動を実施 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---------------------------------------|-----------------------|----|-----------------------|---|
| 47 | 日韓共同開催文化交流事業 日韓交流お祭り 2007 in Seoul | 日本スポーツバトン協会 | 韓国 | 07.10.20～ 07.10.21 | 日本人と韓国人が一緒になって作り上げる、日韓合同の交流事業「日韓交流お祭り2007」パレードに参加する。また、ヨンガン女子情報高等学校との交流も実施 |
| 48 | 日韓青年人権ワークキャンプ イン晋州 | 国際交流青年実行委員会 | 韓国 | 07.10.01～ 08.03.30 | 人権問題をテーマにした日韓青年の交流活動をおこなう。勉強部屋や現地学習、人権問題に関心を持つ韓国大学生との意見交流や共同作業（ワークショップ）を通して交流をはかり、ひとりひとりの立場から、より良い日韓関係を作り、連帯につなげていく事業 |
| 49 | Study Trip from Korea to Japan 2007 | 日本アジア法学生協会 | 韓国 | 07.08.15～ 07.08.23 | 日本の法学生約50名が、韓国の法学生約20名を東京に招き、日韓の間に存在する様々な問題について議論を交わし、共通認識の構築を目指す。また、文化交流を通じてお互いの理解を深め、協調性と友好性の促進を図る事業 |
| 50 | 日韓友好交流ボランティアワークキャンプ | グッド! | 韓国 | 07.08.15～ 07.08.29 | 韓国の田舎の村にて、日本人と韓国人の若者が協力して、農作業、村のモニュメントづくりなど、村の仕事を手伝う。村での共同生活、共同作業を通じて、日韓の若者の成長と相互理解を目指すとともに、日韓の若者と村人との交流を図る事業 |
| 51 | 第11回東アジア大学生平和・人権キャンプ in 光州 | 東アジア大学生平和・人権キャンプ実行委員会 | 韓国 | 07.08.18～ 07.08.22 | 日本側の大学生約40名と韓国側の大学生約40名、合わせて80名が韓国・光州にて、「21世紀の平和、人権/5・18の過去、現在、そして未来」のテーマのもとで、現場で活躍する講師による講義や、フィールドワーク、さらには、参加者同士の討論、シンポジウムなどを実施 |
| 52 | 市民スポーツとスポーツボランティア会議 | スポーキンクラブ | 中国 | 07.08.27～ 07.09.02 | 2008年北京オリンピックを前に、日本の代表15名と中国の代表約40名が市民スポーツおよびスポーツボランティアについての議論を実施。その他、生涯を通じて楽しめる両国のスポーツを互いに紹介しあい、体験する事業 |
| 53 | 日中地域づくり交流会議 | 内モンゴル大草原交流館運営委員会 | 中国 | 07.08.04～ 07.08.08 | 内モンゴルで砂漠化防止による村づくりを実践している住民と、鳥取県智頭町で地域活性化を實踐する住民組織、中国各地で地域づくりを實踐・研究しているNGO組織による交流会議を開催。内モンゴルでの地域づくり現場を視察した上で、環境保全と地域づくりに関して、それぞれの実践に基づいた議論を実施 |
| 54 | 日中の就労を通して将来社会を創造する学生交流ワークショップ事業（パート2） | 特定非営利活動法人 日中環境経済センター | 中国 | 08.02.16～ 08.02.23 | 日本と中国の大学生男女各4名2グループ、計16名の研究生による中国浙江省杭州市内に於ける9日間の将来の社会像づくりのための合宿形式による雇用調査及びグループ研究事業。併せて、事業成果発表フォーラムの開催。 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|---|
| 55 | 日本中国写真芸術研究会訪中団 | 日本中国写真芸術研究会 | 中国 | 07.09.19～ 07.09.25 | 中国平遥国際撮影大展に参加し、日本中国写真芸術研究会会員の作品を展示すると共に、写真文化に関する講演を行う。中国はもとより各国写真家（40カ国）と写真芸術を通して国際交流を实践 |
| 56 | 東アジアを繋ぐEco-Project～中国黄土高原緑化事業～ | 特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会 | 韓国 中国 | 07.09.03～ 07.09.17 | 「環境問題」をテーマに、日中韓の若者たちが集い、語らい、共に汗を流す、次世代リーダーたちの交流プロジェクト。砂漠化が進む黄土高原において、植林活動を通じ、寝食を共にし、汗を流し、交流を深めることで、未来志向の東アジアネットワークの構築を目指す事業 |
| 57 | 日本の伝統文化「てまり」を通じたベトナムとの交流 | NPO法人 日本てまり文化振興協会 | ベトナム | 07.10.02～ 07.10.06 | 日本独特の伝統文化てまりをベトナムの青少年・一般市民に講習を通じて体験してもらい、日本文化への関心を深めてもらう。総領事館の協力を得て、ホーチミン市にある日本人材協力センターでの展示、講習を実施し、日越文化交流を促進 |
| 58 | 高校生のためのネグロスワークキャンプ | アジア学院 | フィリピン | 07.08.13～ 07.08.25 | 日本とフィリピンの高校生が「自然と人」の、また「人と人」の共生について理解を深めることを目的としてフィリピン農村で共に過ごし、循環型農場での共同作業、村のサトウキビ農家でのホームステイ、学校訪問・交流を実施 |
| 59 | 留学生ホストファミリー交流25周年イベント | 特定非営利活動法人 留学生ホストファミリー交流センター | インドネシア タイ マレーシア | 07.09.29～ 07.09.30 | 「アジアの新しい歴史をともに紡ごう－卒業留学生と共に語り合う共通の未来像－」をテーマに地球市民記念フォーラムを開催するとともに、インドネシアと日本の未来を伝統楽器でつなぐコンサートを開催 |
| 60 | 地雷原をグリーンベルトに変えよう | アジアの地雷・不発弾被害を伝える会 | カンボジア | 07.09.06～ 07.09.13 | カンボジアのパンティミンチュエイ州マライで『地雷原をグリーンベルトに』の合言葉のもと活動している「アジアの地雷・不発弾被害を伝える会」が主催するコンサートに、地雷被害者を招へいし講演を通して、カンボジア復興支援への理解を深める事業 |
| 61 | 国際交流第18回タイボランティア活動 | 栃工高国際ボランティアネットワーク | タイ | 07.12.08～ 07.12.15 | 栃木工業高校の生徒・職員がタイ王国のリハビリテーションセンター等の施設や小学校を訪問し、交流会や車いす修理活動を通じて、国際交流を図る事業 |
| 62 | 福岡市・バンコク市における「まちづくり市民人材育成・活動交流事業」 | 財団法人福岡アジア都市研究所 | タイ | 07.12.12～ 07.12.16 | まちづくり活動に自発的に参加し、市民によるまちづくり文化の醸成と普及にも積極的に取り組む市民青少年を、福岡市からバンコク市に派遣し、ワークショップ等を通じ、現地の市民との交流を深めることによって、両市のまちづくり人材の育成・スキルアップと市民レベルのまちづくり人材ネットワークの形成をはかる事業 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|------------------------------|-------------------------|-------|-----------------------|---|
| 63 | 日印交流年事業 日印友好ユース サミット | 社団法人アジア 協会アジア友の 会 | インド | 07.08.08～ 07.11.01 | エッセイコンテストで選ばれた日本の青少年 と、インド国内からの参加者、日本人スタッフ、 サミット講師をカルナータカ州ビジャプール地 区の日印友好学園コスモニケタンに招き、「地 球の未来のために私たちは何をすべきか」を テーマにディスカッションを行い、アクション プランを作成。また、早魃地に植林を行い、交 流を育む。ボランティアリーダーシップ研修も 行い、日印の将来を担う人材を育成 |
| 64 | 日本・ネパー ル・ユース交流 プログラム | 特定非営利活動 法人地球の木 | ネパール | 08.02.20～ 08.02.29 | ネパールで活発な地域活動を行うユースクラブ Helpful Student Clubのメンバーを日本に招 き、日本の若者との交流を行う。テーマを「社 会における若者の役割と国際交流の必要性」と し、合宿、ワークショップなどを通して、地域 を変える力を学び、互いの文化や社会について の意見交換を実施 |
| 65 | スリランカ津波 被害地域の子供 教育改善事業 | ゆつつら～と街 角大学委員会 | スリランカ | 07.10.20～ 07.10.29 | 2004年の津波被害が大きかったスリランカ南東 部のアンバラントタ高校に佐賀市民の協力で2 階建ての図書館が建設された。そこで同校校 長、教員、保護者を日本に招待し、津波等の自 然災害の知識と日本の学校、家庭、地域での防 災対策について学んでもらい、スリランカの子 供たちの教育に役立ててもらおう事業 |
| 66 | ラマチャンドラ ンとインド視覚 文化伝統 | 国際識字文化セ ンター (ICLC) | インド | 07.10.28～ 07.11.15 | 日本では絵本作家として絶大な人気をもつ、イ ンド現代美術界巨匠ラマチャンドランの美術展 (2009年に実施予定)に先立ち、美術展では扱え ない絵本の世界とその人物像を多角的に紹介 し、日本の子どもや若手イラストレーター、一 般の人々が、インドの視覚伝統の新しい側面に 触れられるような展覧会、ワークショップ、講 演会、交流会を開催 |
| 67 | 日仏俳句交流会 (俳句 de Haiku) | 一茶の俳句コン サート実行委員 会 | フランス | 07.10.06～ 07.10.11 | 俳句を通じて日仏の人々の交流を深め、俳句を 身近な物として親んでもらう。交流会に協力 してくれる『ボランティア』を募集し、①展示 ②対談、講演会③俳句コンサート④俳句コン クール等の多くのプログラムを実施 |
| 68 | 第1回日本ノル ウェー学生 フォーラム | 日本ノルウェー 学生フォーラム | ノルウェー | 07.09.05～ 07.09.15 | 2007年9月に行われるノルウェー科学技術大学 (NTNU)の日本セミナーに併せて、同大学で のノルウェー・日本教育シンポジウム、両国の 教育政策に関してのパネルディスカッション、 日本紹介イベントを開催。また、ノルウェー教 育研究省訪問、ノルウェーの中学校への訪問等 も実施 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|--|-------------------------------|----------------|-----------------------|---|
| 69 | キャンプ ベルリン | 広島アートプロジェクト実行委員会 | ドイツ | 08.02.02～ 08.02.10 | 歴史の傷跡を残しつつ都市の再開発が進むベルリンに、人類初の被爆を経験した広島から若手アーティストが赴いて、広島の世界遺産と都市空間を再解釈する作品およびインスタレーションの提示を行う。歴史と都市空間の問題を、現代の芸術表現を通して考察し国外への発信をおこない、人間の移動による多様な交流の広がりを目指す事業 |
| 70 | 第3回日本・ラトビア指揮者交流プロジェクト | 日本ラトビア音楽協会 | ラトビア | 07.10.26～ 07.11.04 | 日本・ラトビア両国の合唱指揮者が交互にそれぞれの相手国を訪れ、『日本人の心とメロディー』をテーマに、自国の合唱曲を相手国の青少年に対し指導し、青少年レベルの相互理解を促進する事業 |
| 71 | SICE2007「The ART BAR」 | 特定非営利活動法人 ピットアーツインターナショナル | ボスニア・ヘルツェゴビナ | 07.08.01～ 07.08.21 | サラエボにおいて、ボスニア、日本、EU各国のアーティストが集い、アーティストインレジデンスを行うとともに、過去5年間にサラエボで行われた、ボスニア、日本、EUの若手芸術家の交流と展示の記録集を制作 |
| 72 | 国際文化交流フェスティバル：国境なき世界「飛翔」2007 | 六軒丁睦 | クロアチア | 07.08.27～ 07.09.01 | クロアチアのオシエック市にあっては、戦禍は大きく、青少年の育成に大きなダメージを与えた。そこでユースオーガニゼーション「ブレザ」は青少年の健全育成を目的として、毎年子供達のための国際文化交流フェスティバルを主催・開催してきた。本年度は10ヶ国のワークショップが既に企画されており、その一つとして仙台の「雀踊り」を子供達に体験学習してもらう事業 |
| 73 | アフガンデジタルコンテンツワークショップ | NPO法人クロスアーツ | アフガニスタン | 07.11.06～ 08.02.17 | アフガニスタンの映画監督と若手の映像クリエイターを日本に招聘し、日本の最先端技術ハイビジョンをアフガンの映画制作に導入するためのコストダウンの方法を紹介し、日本のプロフェSSIONナルによるハイビジョンを活用した映画の撮影編集ワークフローを伝えるワークショップを実施 |
| 74 | パレスチナ・イスラエル・日本市民交流事業 宗教者間対話を通して考える中東和平 | 特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター (JVC) | イスラエル パレスチナ | 07.11.09～ 07.11.19 | 解決の糸口が見出せないパレスチナ問題において、平和を希求する人々による対話・交流の持つ意味は大きい。宗教は対立ではなく、平和のための役割は大きい。イスラーム、ユダヤ教、キリスト教の学識者を日本に招聘し、NGO活動等にも関わる仏教者との対話、学識者間の交流、市民が参加するシンポジウム等を開催 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|---|--------------------------|----------------|-----------------------|---|
| 75 | 第五回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議 | 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議 | イスラエル パレスチナ | 07.08.10～ 07.08.28 | 現地では交流の機会を持つことが難しいイスラエル・パレスチナ人学生を日本に招致し合宿形式による会議を開催。日本人・イスラエル人・パレスチナ人学生の相互理解ならびに信頼の醸成を図る。また、「遠くの出来事」と捉えられがちなイスラエル・パレスチナ問題への関心を日本社会において喚起する。 |
| 76 | パレスチナと日本、次世代育成の共通の課題と解決への協働 | 特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン | パレスチナ | 07.09.01～ 08.03.31 | パレスチナ（ヨルダン川西岸およびレバノンの難民キャンプ）から教育関係者、心理関係者を日本に招き、日本の専門家と研究会やシンポジウムを持つほか、各地で幅広い層の市民や若い世代との交流を行う。双方の青少年の抱える課題を理解しあい、より専門的な視点から共通する問題の解決策を探る。 |
| 77 | 日本アラブ青年対話 | 日本中東学生会議 | シリア ヨルダン | 07.10.30～ 07.11.07 | 東京の大学生とアラブ諸国からの招聘者、東京在住の中東諸国出身者が「宗教の多様性」と「メディアの役割」についての議論を実施。また、日本にある関係施設を見学し、議論に反映させる事業 |
| 78 | 日本ケニア学生会議第8期本会議 | 日本ケニア学生会議 | ケニア | 07.08.09～ 07.08.28 | ケニア人学生を日本に招き、「農村と都市」をテーマに、そのあるべき姿を7つの分科会を通して議論。様々な国際問題の議論や、ホームステイ、アフリカンフェア、路上生活者との交流などの企画を通して交流を深める事業 |
| 79 | 2007年ウガンダ国際ワークキャンプ | エイズ孤児支援NGO・PLAS | ウガンダ | 07.07.26～ 07.08.18 | ウガンダ共和国首都付近のスラムにて現地の若者と共にワークキャンプを開催。エイズ予防啓発や、地域の小学生との学芸会、学校での日本文化の紹介授業、学校設備の整備等を行う。また今後地域にとって何が必要かを同世代の日本人とウガンダ人ボランティアが議論 |
| 80 | スポーツ文化の社会的役割に関するアジア・フランス交流 | NPO法人スマイルクラブ | フランス | 07.12.09～ 07.12.15 | 日本とフランスのスポーツに関する団体や専門家との文化交流をワークショップ形式で実施。スポーツが社会において果たす役割について意見交換を行い、意見交換の結果はアジアの団体に伝え、アジアとフランス間の交流を促進 |
| 81 | 音楽を通じた国際交流のためのコンサート、公開講座とディスカッション | 大阪国際音楽振興会 | 全世界区分困難 | 07.08.17～ 07.10.08 | 大阪国際音楽コンクールの国内審査員とフランス、イタリア、オーストリア、タイ、韓国などの海外審査員と市民によって行なわれるパネルディスカッション、及び、公開レッスン、デュオコンサート |
| 82 | 海外の映像作家達によるワイルドライフ映像を通して自然・生命を考えるシンポジウム | NPO法人地球映像ネットワーク | 全世界区分困難 | 07.08.23～ 07.08.26 | 世界自然野生生物映像祭で、海外審査員を務める映像作家3名それぞれが撮った映像を上映した後、作成秘話や、どのような思いで撮ったかなど、観客と分かち合うことを通して、日本で馴染みの薄いフィルムメーカーという生き方、地球の美しさを紹介 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|----------------------------------|-------------------------|-----------|-----------------------|--|
| 83 | 第四回世界俳句協会大会 | 無限責任中間法人世界俳句協会 | 全世界区分困難 | 07.09.14～ 07.09.16 | 人種・宗教・性・経済・政治など異なる世界各国の俳人、詩人が文化的価値観の違いを超えて一同に会する。今回は13カ国が日本に集合。自作俳句の朗読、講演、ジュニア俳句や俳画のコンテスト等とおして、互いの理解を深め合う事業 |
| 84 | IAVEアジア太平洋地域ボランティア会議 | 特定非営利活動法人愛・地球ボランティアセンター | 全世界区分困難 | 07.12.07～ 07.12.11 | アジア太平洋地域のIAVE (International Association for Volunteer Effort) 会員が集まり、ボランティア活動発展のために課題や提言を共有し、お互いの絆を深める。また、会員以外の青少年等にも広く参加を呼びかけ、開催国・地域におけるボランティア文化の創造に寄与する事業 |
| 85 | フォーカス オン ジャパン 2007 | 財団法人国際文化フォーラム | 全世界区分困難 | 07.08.03～ 07.08.11 | 海外と日本から各8名合計16名の高校生が、4名ずつ4つのチームに分かれて日本国内4カ所を訪問し、各地の高校写真部の協力を得ながら、共同作業で人々の姿と暮らしを写真とエッセイからなる作品に仕上げ、世界に発信するプロジェクト |
| 86 | DV根絶女性フォーラム&シェルターシンポ | 特定非営利活動法人全国女性シェルターネット | アジア地域区分困難 | 07.11.23～ 07.11.25 | 女性に対する暴力は世界中で最も深刻な課題であり、アジアでの人身売買、経済的・性的搾取も過酷の度を増している。アジア各国のDV被害支援・NGO等が一同に会する国際フォーラムを契機に課題を共有化し、ネットワーキングすることにより、暴力の根絶を目指す事業 |
| 87 | エコビレッジ国際会議 TOKYO2007 | NPO法人ビーグッドカフェ | 全世界区分困難 | 07.11.23～ 07.11.24 | 世界で広がる持続可能なライフスタイルモデルである「エコビレッジ」について、デンマーク、フィリピン、メキシコの事例を紹介しつつ、エコビレッジづくりを成功させるための条件を考え、日本におけるエコビレッジ建設と運営の道筋を検討する会議 |
| 88 | 「異文化理解」講座－インドの染織文化に親しむ | 財団法人 日本民藝館 | インド | 07.10.04～ 07.12.02 | 日印交流年を記念し、インドの染織文化を多角的に紹介するため、インドなどから研究者や職人を招へいし、講演会やワークショップを開催することで、インドの伝統的な生活文化に親しみ、異文化理解の促進を図る事業 |
| 89 | カニニ（ウルルからの報告）－今だから伝えたい4万年のメッセージー | 能古映画サークル | オーストラリア | 07.11.02～ 07.11.04 | 4万年前の文明をそのままの形で継承してきたと言われるオーストラリア先住民。彼らの歴史と現状を紹介したドキュメンタリー映画を上映し、監督、副監督（主演）を招へいし、講演会を行う。現代人が失ったかけがえのないものは、何だったのか、文化伝承の先人が、現代への警鐘と未来への展望を語る事業 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|----|-----------------------|--|------------|-----------------------|---|
| 90 | 関西アフリカ理解セミナー | 特定非営利活動法人アフリック・アフリカ | アフリカ地域区分困難 | 07.09.27～ 07.12.15 | アフリカ理解を目的とした活動を行っている関西のNPO、ユース団体と協力して、2回の連続セミナーを実施する。1回目はアフリカ映画上映、写真展の開催及び学識者の講演を実施し、2回目は関西在住の市民、とりわけ若者のアフリカ理解を深めるため、ユース団体との共催によるシンポジウムを実施 |
| 91 | 日独ユースサミット | 日独青少年協会 | ドイツ | 07.08.16～ 07.08.18 | 「わたしたちの未来を創る：これからの10年はどうなるか」をテーマに、日独の学生各60名程度が、東京にて、4カテゴリー12のトピックスでグループ作業や議論を行い、プレゼンテーションを行う事業 |
| 92 | キャピトル大学－創価大学文化交流・研修事業 | キャピトル大学 | フィリピン | 07.09.09～ 07.09.16 | フィリピン、ミンダナオ島にあるキャピトル大学の学生と指導教官が訪日し、創価大学にて日本の文化・社会に関する講義と日本語教育の授業を受けるとともに、同大学生と交流し、社会、教育、健康、平和等に関してパネルディスカッションを行う。またホームステイや医療機関の訪問、中高生との交流も実施 |
| 93 | 日本体験プログラム | アテネオ・デ・マニラ大学 (Ateneo de Manila University) | フィリピン | 07.10.22～ 07.11.04 | フィリピンにおける日本研究の拠点機関であるアテネオ・デ・マニラ大学の5つのキャンパス(マニラ、カガヤンデオロ、ダバオ、ナーガ、ザンボアンガ)から選ばれた学生と教官が福岡を訪問し、提携関係にある九州大学で日本の文化・社会に関する講義と日本語教育の授業を受け、同大学の学生との交流会も実施。また、福岡地域で文化体験のための小旅行も実施 |
| 94 | DAWN訪日研修 | 女性のための行動ネットワーク (Development Action for Women Network (DAWN)) | フィリピン | 07.10.12～ 07.10.25 | 日本に出稼ぎ時に受けた経済的、精神的ダメージを受けた女性へのカウンセリングや職業訓練に実績をあげているNPOのメンバーが訪日し、日本側の関連団体と活動の成果を共有し、ネットワーク形成を進め、また、フェアトレードのネットワークのためのマーケット調査を行い、今後の活動基盤を確立していく事業 |
| 95 | 演劇、美術、日仏交流史発表による国際交流 | ジュール・フェリー高校 | フランス | 07.10.18～ 07.11.01 | 日本語を学ぶジュール・フェリー高校の学生が訪日し、フランス語教育を取り入れている兵庫県の高校生と演劇、美術、日仏交流史という3種の事業を通じて国際交流を行う。また、来年の日仏交流150周年に向けて、兵庫県の文化施設、企業等も訪問し、幅広い市民交流を実施 |
| 96 | 日仏青少年交流(一関－グルノーブル) | パルマンチュエ・フェンシング・クラブ | フランス | 07.11.01～ 07.11.11 | 2006年にグルノーブル市にある申請機関がフェンシングの盛んな岩手県立第二高校の学生を招いたことをきっかけとして、今回は同高校が受け入れ機関となり、グルノーブル市の高校生が訪日し、フェンシングを通じた交流を実施 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|-----|-----------------------------|---------------------------|-------|-----------------------|---|
| 97 | シフティング・ボーダーズ | ミュンヘン芸術大学写真学科 | ドイツ | 07.11.26～ 07.12.13 | ドイツの学生15名及び指導教官が、沖縄を訪問し、沖縄県立芸術大学の学生と交流し、沖縄の文化に触れ、「Shifting Borders」と題した共同展の準備を進める。また、東京も訪問し、美術館、ギャラリー等をたずね、また日本の現代建築や寺院等の伝統的な文化など様々な面に接し、写真撮影を行う。帰国後、作品展をミュンヘンのゲーテ・インスティテュートで開催 |
| 98 | 第2回 日韓学生未来会議 | 日韓学生未来会議 | 韓国 | 08.02.12～ 08.02.16 | (社)日韓経済協会主催の「日韓高校生交流キャンプ」参加経験者有志による日韓双方のOB会団体が、高校生キャンプで培った信頼関係を基に更に深い交流と意見交換を行う場として「日韓学生未来会議」を主催している。2007年2月に実施した第1回の結果を踏まえ、「第2回日韓学生未来会議」を学生主体で開催・運営することで交流を発展させる事業 |
| 99 | 第40回 日韓学生会議 | 日本国際学生協会 | 韓国 | 07.12.22～ 07.12.27 | 日韓両国の関係を憂える学生の手により、両国の相互理解の促進と国際平和への貢献のため、ディスカッションを実施し、また文化紹介を始めとする企画を通して、友好関係を深める事業 |
| 100 | 日中高校生社会貢献交流事業 | 財団法人日本青少年研究所 | 中国 | 08.03.21～ 08.03.28 | 当研究所はボランティア活動やクラブ活動で活躍している高校生を奨励する「いきいき活動奨励賞」事業を行っている。この「いきいき活動奨励賞」の最優秀賞7名が中国訪問し、中国の高校でその活動を発表し、中国の高校生と交流する。このボランティア活動やクラブ活動の交流を通して、日中高校生の社会貢献の意識を高め、相互理解と友好を図ろうとする事業 |
| 101 | CLCA子ども能楽蘇州公演と蘇州市の子どもたちとの交流 | 特定非営利活動法人子どもと生活文化協会 | 中国 | 08.03.17～ 08.03.20 | 日本の伝統芸能の能・狂言の継承活動に取り組んでいるCLCAの子どもたちが蘇州市にて能楽を上演し、同時に中国の伝統芸能である昆劇を習っている蘇州市の子どもたちも昆劇を上演して交流を行う。伝統芸能の上演を通じて互いの文化の理解を深め合うとともに、能楽師の先生によるワークショップにより日本文化に対する理解を深める事業 |
| 102 | コーディリエラ・エコ・ユース・サミット | 特定非営利活動法人プレイバック・シアターらしんばん | フィリピン | 07.11.30～ 07.12.15 | 北ルソン山岳地方5州の先住民族若者グループが、コミュニティ・シアターを通して環境問題を表現し、その解決策を探る。異なった民族の若者たちの交流とネットワーク作り、コミュニティ・リーダーとしての育成・教育を目的とし、日本の専門家を招待し、コミュニティ・シアターのワークショップなどを実施 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|-----|------------------------------|-------------------------|---------------|-----------------------|--|
| 103 | 2008年「日本・パキスタン学生スタディツアー」 | 特定非営利活動法人ヒマラヤン・グリーン・クラブ | パキスタン | 08.03.14～ 08.03.28 | 日本の学生が、スカルド市で8日間開催する「学生・文化と植林の交流会議」で、現地の学生と「お互いの文化」と「温暖化対策としての植林」についての討論を実施。その他、近郊の村で「一般家庭にホームステイ」をして、お互いの文化や生活環境の相違点、類似点を知る事業 |
| 104 | 日印友好ユースサミット インジャパン | 社団法人アジア協会アジア友の会 | インド | 07.12.12～ 07.12.19 | インドで開催された日印交流年事業「日印友好ユースサミット」にて、日印合同で決定された行動指針と友好関係をより多くの日本の青少年たちに広め、将来の日本とインドの友好協力関係を担い、世界に貢献できる人材をより多く育成するため、日印友好ユースサミット インジャパンを開催。また、エッセイコンテストと、インドで開催されたサミットに携わった学校を訪問し、学生との交流を深める事業 |
| 105 | 2008年模擬国連会議全米大会第25代日本代表団派遣事業 | 2008年模擬国連委員会 | 米国 | 08.03.10～ 08.03.31 | 模擬国連会議では、各参加者が一国の大使を担当し、国連会議のシミュレーションを行う。本活動は1923年にハーバード大学の学生により開催され、現在、毎年世界中の学生が参加し実施されている。当事業は第25代の日本代表団を、米国で開催される本大会へ派遣する事業 |
| 106 | スイス・ローザンヌ市での国際文化交流 | 特定非営利活動法人はれたりくもったり | スイス | 08.02.18～ 08.02.23 | スイス・ローザンヌ市のアール・ブリュット・コレクションにおいて開催される展覧会「日本のアウトサイダー・アート展」の開催期間中に、日本の出展作家及び関係者が、当美術館に訪れ、「アウトサイダー・アート(=アール・ブリュット)」についての議論・対話を通して交流を実施 |
| 107 | 日本とスイスのアウトサイダー・アートに関する意見交換 | 特定非営利活動法人LapoLapoLa | スイス | 08.01.12～ 08.01.20 | 北海道立旭川美術館において開催される展覧会「アール・ブリュット・コレクションと日本のアウトサイダー・アート」の開催期間中、日本の市民とスイスのアール・ブリュット・コレクション館長・学芸員が、「アウトサイダー・アート(=アール・ブリュット)」についての議論・対話を実施 |
| 108 | 出雲－パレスチナ・プロジェクト | 出雲とベツレヘム－音楽のかけはし | イスラエル ヨルダン | 08.02.21～ 08.02.28 | ベツレヘムを訪問し、ベツレヘム音楽アカデミーと、室内楽演奏会の開催、現地の若手音楽家に対する指導、コンサートでの共演、現地の子どもとワークショップを実施、日本の音楽や文化、出雲についてのレクチャーを実施。演目は、サリーム・ゾグビ氏が木村恵理に献呈した曲のほか、日本歌曲など |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|-----|-------------------------------|--------------------------|-----------|-----------------------|--|
| 109 | 日本エチオピア学生会議 第2期本会議 | 日本エチオピア学生会議 | エチオピア | 08.02.28～ 08.03.18 | 日本人学生がエチオピアへ訪問し、JICAプロジェクト、草の根支援NGO、コーヒー農園を訪問することで、世界最貧国エチオピアの現状を知る。そうしたエチオピアの現状を知った上で、現地の学生との様々な国際問題の議論、生まれ故郷への訪問を通じて、交流し、その結果を日本国内で報告 |
| 110 | チャイルドヘルプライン・アジア会議 | 特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター | アジア地域区分困難 | 07.12.01～ 08.03.31 | CHIアジアパシフィック会議への参加を通して、アジア地域のチャイルドライン実施団体との交流を深める。また開催国タイのスラムの子ども（特にストリートチルドレンや虐待を受けた子どもなど）への取り組みを学び、子どもに対する日本と異なるヘルプやサポートの取り組みを知り、日本の活動に活かす事業 |
| 111 | 第3回21世紀ミュージアム・サミット | 財団法人 かながわ国際交流財団 | 全世界区分困難 | 08.03.21～ 08.03.22 | リーダーシップを担う美術館長、政策担当者やアートマネジメント関係者を対象に、変革期にあるミュージアムのチェンジ・マネジメントを実現するための新しいものの見方や考え方を、欧米、アジア地域の美術館長らの基調講演における事例から抽出し、日本の現状に資することを目指すリーダーシップ・セミナー |
| 112 | 平成19年度「地球市民講座」 | (財)福岡国際交流協会 | ロシア | 08.02.06～ 08.03.05 | 市民を対象に世界の国や地域の社会、文化事情や地球上で起こっている様々な問題等への理解をより深めるため、専門家を招き、シリーズで開催する「地球市民講座」を開催。本年度のテーマは「隣人、ロシア～新しいロシアと日本の関係」 |
| 113 | ここから始める国際交流・小さな世界旅行 | NPO法人ル・バトール | 全世界区分困難 | 08.01.27 | 主に子供及び保護者を対象に、世界各国を紹介したブースをオリジナルパスポートを持って擬似旅行してもらい、またワークショップやクイズラリーなどを通して楽しみながら異文化及び世界の現状に触れ理解を深める事業 |
| 114 | シンポジウム：トルコの今について語ろう | 財団法人 中近東文化センター | トルコ | 08.01.27～ 08.02.10 | 「日本とトルコ友好の架け橋—エルトゥールル号回顧」展開催に合わせて、トルコに関するシンポジウム「トルコはEUに入れるのか、否か」と「トルコのものさし、日本のものさし—トルコと日本の異文化接点を探る」を開催 |
| 115 | 国境なき子どもたち10周年記念公開講座『シリーズ アジア』 | 特定非営利活動法人国境なき子どもたち (KnK) | アジア地域区分困難 | 07.12.15～ 08.03.15 | 申請団体が設立10周年を記念し、同団体が活動を展開しているアジア8カ国の社会・文化事情に精通した方をゲスト講師として迎え、アジアに対する理解を深めてもらうことを目的に、一般市民を対象とした公開講座を東京で開催 |

| | 事業名 | 団体 | 国 | 期間 | 事業内容 |
|-----|------------------------|----------|------------|-----------------------|---|
| 116 | 台湾高校生交流事業 | 財団法人交流協会 | 東アジア地域区分困難 | 08.02.13～ 08.02.20 | 台湾の高校生を招へいし、高校生間の交流や文化体験を通じ、台湾の若い世代における対日理解の促進を図るとともに、日本の若者にも台湾の高校生と接する機会を設け、相互理解共有者としての礎を創る事業 |
| 117 | ettedaチームのTETSUSON展示参加 | etteda | 韓国 | 08.03.12～ 08.03.17 | 韓国の芸術関連の大学生約40人が訪日し、日本やその他海外のデザイン、建築、芸術専攻の学生と合同で、東京の浅草でTETSUSON2008展を開催する。また、トークセッションを実施するとともに、意見交換を行い、今後の交流を促進 |

催し等事業費 (4)異文化理解ワークショップ

日本におけるより正確で深い異文化理解促進のため、公開講座や巡回展示を実施する。

合計額 33,651,155 円

| | 事業名 | 場所国 | 都市 | 場所名 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------|----------------------------|---|--|-----------------------|--|
| 1 | 第11回漫画展 | 日本 ブルネイ マレーシア インド | 大阪市 知立市 名古屋市 バンドルスリ ブガワン イポー クアラ・トレンガス クアラルン プール コタ・キナバル ジョホール・ バル ニューデリー | 大阪国際交流センターギャラリー 知立市中央公民館 あいち国際プラザ アイリスルーム ブルネイ博物館 ペラ州立図書館 トレンガス州立図書館 国立図書館 サバ・アートギャラリー ジャヤ ジャスコ トゥブ ロウ ベイ店 ニューデリー 日本文化センター多目的ホール | 07.04.01～ 08.03.31 | 平成18年度に開催したアジア10カ国(バングラデシュ、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム)の新聞、雑誌などの第一線で活躍中の諷刺漫画家10名が諷刺とユーモアで描いた「第11回アジア漫画展－アジアの若者文化」(作品77点)を昨年度に引き続き、知立市、名古屋市及びマレーシア、インド、ブルネイに巡回 |

市民青少年交流事業費

| | 事業名 | 場所国 | 都市 | 場所名 | 期間 | 事業内容 |
|---|---------|---|---|--|-----------------------|---|
| 2 | 第10回漫画展 | 韓国 中国 カンボジア タイ フィリピン インド | ソウル 昆明 済南 プノンペン ナコンシータ マラート バンコク ケソン パサイ マンダルーヨン ニューデリー | ソウル貿易展示場 雲南省民族博物館 山東省工芸美術学院美術館 カンボジア日本人材開発センター 学習センター バンコク日本文化センター アート・スペース ザ・プロック・ノース・エドザ、 ショッピング・センター SMモール・オブ・アジア、 ショッピング・センター ポーディアム、 ショッピング・センター 日本文化センター 岡倉天心ギャラリー | 07.04.01～ 08.03.31 | 平成17年度に開催したアジア10カ国（カンボジア、中国、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）の新聞・雑誌などの第一線で活躍中の諷刺漫画家10名が諷刺とユーモアで描いた「第10回アジア漫画展－アジアの環境問題」(作品77点)を昨年度に引き続き、韓国、タイ、カンボジア、中国、フィリピン、インドに巡回 |

| | 事業名 | 場所国 | 都市 | 場所名 | 期間 | 事業内容 |
|---|-----------|---------|----|-------------------|-----------------------|---|
| 3 | 異文化理解講座 | 全世界区分困難 | 東京 | 国際交流基金 国際会議場ほか | 07.04.01～ 08.03.31 | 諸外国の社会・文化事情やその歴史的背景などについてのより深い関心と正確な理解を促し、且つ、当該地域の社会・文化・芸術等に関する基本的な知識・情報をも体系的に提供することを目的として、一般市民向け講座を実施。今年度は、アジア理解講座として、第1期に「ファッションがつくるインド」、第2期に「インド・神話と芸能：神々を演じる人々」、「アジアの人口問題」、第3期に「アジアの〈こころ〉と〈からだ〉：医療人類学からのアプローチ」を実施。中東理解講座として、第1期に「文明の十字路・コーカサスの諸相」、「中東の新しい経済」、第2期に「シリアとレバノンで何が起きているのか：中東地域情勢の意味に迫る」、第3期に「文化遺産保存と考古学の間で：西アジア・中央アジアの遺跡から」を実施。中南米理解講座として、第1期に「先住民族文化の現在：ルーツ・変容・声」、第2期に「キューバのすべて」、第3期に「BRICsブラジルからのメッセージ：多様性が創る未来」、「中南米の音楽Ⅱ：歌・踊り・祝宴を生きるひとびと」を実施。 |
| 4 | 異文化理解講座出版 | 全世界区分困難 | | | 07.04.01～ 08.03.31 | 異文化理解講座の内容を書籍化して市販流通させることにより、広く一般の人々に同講座の情報を提供する。山川出版社との共催により、『中国の外交－自己認識と課題』、『民衆のイスラーム－スーフィー・聖者・精霊の世界』、『現代中米・カリブを読む－政治・経済・国際関係』を、東京堂出版との共催により、『アラブ・ミュージック－その深遠なる魅力に迫る』を出版。 |